

部門長の責任の明確化「仕事宣言」

広島市

○ 取組の概要

局長、区長の年度の実施方針である「仕事宣言」は、「基本姿勢」「重点施策（現状と課題・取組）」により構成。また、年度末には各項目について達成状況を取りまとめて評価し、公表。

○ 広島市の概要



広島市の概要

市役所所在地

- 広島県広島市中区国泰寺町1-6-34

人口

- 1,127,913人（～H17.4.24）
 - 1,135,647人（H17.4.25～）
- ※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

合併の状況

- 平成17年4月25日、湯来町を広島市に編入。

○ 取組について

1. 取組の背景

- ・ 長野県では知事と部長の「協約」という名称で、横浜市では局区・事業本部の「運営方針」という形で、またその他幾つかの自治体でもほぼ同じ内容のホームページを立ち上げており、そこで、広島県も市長の発案により平成 15 年度から「仕事宣言」の取組みを始めた。
- ・ 以下は、この「仕事宣言」導入の際の秋葉市長の発言(一部抜粋)である。(平成 15 年 6 月 27 日)

「仕事宣言」導入の際の秋葉市長の発言

今年度から広島市では、このホームページを通じて、各局の局長や区長等、広島市の幹部職員(以下、「局長」に略します)の「仕事宣言」を市民の皆さんにお届けすることにしました。

最初に広島市の組織について一言説明しておきましょう。会社組織になぞらえれば、市長は社長、助役は専務、そして局長は取締役に対応する仕事をしています。大切なのは各局長が、私のブレーンとして広島市の基本的な方向性や今後についての計画立案に携わるだけでなく、各分野の現場責任者として担当分野においての実践的な仕事の最高責任者であるという点です。

「仕事宣言」の目的は、そんな立場にある局長が今年度、何を重点施策として仕事をして行くのか、その内容とスケジュールを市民の皆さんにお伝えすることにあります。あえて「仕事」を強調しているのは、広島市の幹部職員の「仕事師」としてのやる気や経験そして能力を皆さんに知って頂きたいからですし、「仕事」を通して、私と共に市民の皆さんのために働いている優秀な「co-workers」(共に働く人たちという意味です)を私が誇りに思っているからでもあります。

この「仕事宣言」は毎年更新しますが、半年に一度は中間報告を、そして達成状況等について重要な報告がある場合は適宜、このページに書き込みを行いたいと考えています。

最後に、誰が責任を取るのかについて一言付け加えておきます。「仕事宣言」の中味は、市政の重要問題が中心になります。また局長は選挙で選ばれた市長の公約実現のため、努力しなくてはならない立場にもあります。当然、市長ならびに助役との協議が必要になります。ですから、「局長の仕事宣言」ではあっても、市長・助役との合意がなくてはなりません。つまり、「局長の仕事宣言」という名称は、局長が現場の責任者である事実を反映していますが、市民の皆さんに対する最終責任は市長にあることを改めて明記しておきたいと思えます。

2. 取組の具体的内容

<「仕事宣言」の目的>

「仕事宣言」導入の目的は、以下の2点に集約される。

- ・各分野の実際的な仕事の責任者である局長が、本年度、何を重点施策として仕事をしていくのか、その内容とスケジュールを市民の方に伝えることにより、情報開示を一層進めること。
- ・各局の仕事の目標やスケジュールを、ホームページを通して公表し約束することにより、仕事の効率化を図ること。

<「仕事宣言」の内容>

「仕事宣言」は、毎年度、作成することとなっており、各局等における①当該年度の基本方針と②重点施策に関する現状と課題及び取組、を明記することとなっている。また、取組の内容については、期限、数値目標等を掲げてできるだけ具体的に記述することとなっている。

「仕事宣言」の基本的なフォーマット

- 基本姿勢（年度に取組む基本的な姿勢、方針を記載。）
- 重点施策（年度に取組む重点施策を記載。各局で5-10本の重点施策を掲載。）
 - 現状と課題（各施策の現状と対処すべき課題を記載。）
 - 取組（重点施策の具体的内容を記載。）
 - 目標時期（実施時期等を記載。）
 - 問合せ先（施策の所管課の連絡先を記載。）

以下は、上記フォーマットのもとに作成された、企画局総務局長の平成16年度の「仕事宣言」からの一部抜粋である。

企画局総務局長の平成16年度の「仕事宣言」 一部抜粋

●基本姿勢

「市民の市民による市民のための広島市政」の実現に向けて、私たち企画総務局の職員は、市全体の業務執行を裏から支えるスタッフであることを認識し、市政が円滑に機能するよう、次の基本姿勢に基づいて日々事務を遂行します。

- (1) 情報提供を進めるとともに、市民の声を聴くことに努めます。
- (2) 漫然と仕事をするのではなく、常に事務を見直し、簡素・効率化に努めます。
- (3) 職員一人一人が自らの能力を十分に活かすことにより、組織は最高の力を発揮します。このため、職員が能力を発揮しやすい環境づくりに努めます。

●重点施策

- 1 広島市ホームページの改訂
- 2 科学技術政策の推進
- 3 行政評価の推進
- 4 ビジターズ・インダストリー戦略の推進
- 5 都心活性化シンポジウムの開催
- 6 電子申請の実現
- 7 公益法人等の活性化、効率化の推進
- 8 不祥事再発防止のための取組の強化
- 9 行政改革の推進

なお、平成 15 年（2003 年）2 月の市長の所信表明に掲げた施策と、各局等が「仕事宣言」を通じて明記した「重点施策」は、以下のようにリンクしている（一部抜粋）。

所信表明に掲げた施策		各局等の重点施策
1 世界平和の基礎となる「人道都市広島」の創造		
「新・非核三原則」の提唱		
	●2005年を目標とした核兵器廃絶運動の世界的展開	核兵器のない世界の実現に向けた取組みの推進
	○平和市長会議を中心に国際的な「調停」機能の創出	
	○国際連合やNGO等との連携	核兵器のない世界の実現に向けた取組みの推進
世界的な「平和の循環」の創出		
	●平和記念資料館の建物整備と展示内容の一新	核兵器のない世界の実現に向けた取組みの推進
	●広島・長崎講座の世界各地への普及	核兵器のない世界の実現に向けた取組みの推進
	●折り鶴の「永久保存」	核兵器のない世界の実現に向けた取組みの推進
広島平和研究所の研究成果の発信機能の充実		学術研究の成果の情報発信の推進 市民への学習機会の提供

<「仕事宣言」の報告と評価>

「仕事宣言」は、半年に一度の中間報告と年度末のタイミングで達成状況の評価が行われている。なお、達成状況等について重要な報告がある場合は適宜、「仕事宣言」を加筆・修正するなどの書き込みを行っている。

評価は、主として「重点施策」の単位で行い、事前に設定した目標の達成状況に照らして、以下の区分で整理されている。

凡例		目標を達成したもの
		目標を達成できなかったもののうち、(1)達成率80%以上、(2)10月末までに実施済であるもの
		目標を達成できなかったもの[上記(1)(2)以外]
※達成率の判定時期や目標値として定めた期限が来ていないものは空欄とした。		

<市民からの提案等>

「仕事宣言」を見た市民の皆さんから感想あるいは提案等をいただけるよう、各局長や市長のメールアドレスやその他の連絡方法も、あわせて掲載している。

<作成主体・対象>

各局の局長、区役所の区長、行政委員会

3. 取組にかかる事業費

- ・ 通常業務の一環として取組んでいるため、関連する事業費の計上は無い。

4. 取組の体制

- ・ 「仕事宣言」の取り纏めは、企画調整部（調査担当 4 名）が行っている。企画調整部調査担当課長 1 名、課長補佐 1 名、主査 1 名、主事 1 名

5. 取組の成果

- ・ 取り組みの成果は、以下の 2 点である。
- ① 仕事の目標やスケジュールを公表し、約束することから、期間内に仕事を終えなくてはならないという、いわゆる締切効果が生まれ、より一層の緊張感をもって取り組むことにより、仕事の効率化が図られると考えている。
 - ② 幹部職員は公にした期限を常に念頭に仕事をしており、数値目標による業務管理や市民への説明責任についての意識改革は進んだと思われる。

6. 今後の課題

- ・ 「仕事宣言」の記述について、市民から見てわかりにくいのではないかとという指摘があったため、わかりやすく簡潔な文章表現を用いて見やすいレイアウトにするとともに、取組内容を明確にするため期限や数値目標・項目等を具体的に設定するなど、改善を図ることとしている。市ではこのように今後とも、市民への情報提供による市政に対する理解を促進させるため、「仕事宣言」の内容等の充実を図っていきたいと考えている。